

特別支援教育課便り

教職員・幼児児童生徒・保護者を応援します！

サポート

NO. 151号

平成30年3月20日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

祝 卒業 ～それぞれの旅立ち～



ようやく春らしい季節を迎え、各特別支援学校では卒業式が行われました。
今回は、視覚支援学校、秋田きらり支援学校、栗田支援学校、横手支援学校の卒業式の様子をご紹介します。

視覚支援学校 卒業式

晴れやかな青空と春の日差しが暖かく「かがやきの丘」を包んだ3月7日（水）と15日（木）に、視覚支援学校の卒業式と修了式を行いました。7日には中学部1名、高等部普通科2名の卒業生と高等部専攻科7名の修了生が、15日には1名の幼稚部生が笑顔で学び舎を巣立っていきました。

在校生を代表した生徒会長の送ることばには、先輩たちへの感謝の思いと、新しい扉を開く一人一人を心から応援する気持ちが込められていました。また、卒業・修了する11人の別れのことばには、それぞれが自分の目でしっかりと未来を見つめ、自分の力を信じて歩いていこうとする決意があふれていました。その姿は誇り高く頼もしく、後輩たちの心にたくさんの夢と希望を残してくれました。

式の最後に、今年度在籍している全員で歌う最後の校歌を歌いました。

「希望にもえて育ちゆくわが学校にひかりあれ」

校歌の歌詞のひとつひとつを胸に、一人一人が思いを新たにしました。
(教頭 大山 美香)



秋田きらり支援学校 卒業式

3月9日（金）、県立秋田きらり支援学校では、御来賓26名をお迎えして卒業式が行われ、小学部4名、中学部6名、高等部12名、計22名が巣立って行きました。

心温まる拍手で卒業生が迎えられ、卒業式は始まりました。小林俊昭校長から、お祝いの言葉を添えて一人一人に卒業証書が授与されると、緊張した卒業生の表情が喜びに変わるのが分かりました。式辞では校長から、感謝の気持ちを忘れず、周りの方々と仲良くし、未来を豊かにして欲しいと激励の言葉が贈られました。答辞では、高等部3年の門脇瑞希さんが、お世話になった人達への感謝と共に、挑戦する気持ち





を学び、仲間を得たことに対する喜びの言葉が述べられました。全校児童生徒と職員による歌「旅立ちの日に」では、スクリーンに映し出された思い出の写真を背景に、卒業生が在校生と気持ちを一つにして別れを惜しまました。

立派に成長を遂げた卒業生、式が終わった瞬間から一人の社会人となった高等部卒業生は、式場からの惜しみない拍手に見送られ、胸を張って式場を後にしました。
(教諭 佐藤 満)

栗田支援学校 卒業式

3月9日(金)は、なごり雨になりましたが、46名の来賓を迎え小学部6名、中学部21名、高等部普通科33名・職業科9名の卒業式を行いました。飾り付けや当日の受付・接待など、卒業生や地域の方々への感謝の気持ちとまごころを込めて在校生全員で行いました。

西嶋崇広校長は式辞で、各学部の卒業生にはなむけの言葉と共に、「地域学習として、新屋地域の方々の活動や地域行事への参加のほか、実践的な職業教育に取り組むなど、卒業生の皆さんは活動の中心でした。自分に厳しく、まわり人への感謝と思いやりを示すことが一番大切であることを忘れないでください」と卒業生に語りかけました。

その後、児童生徒全員による「よろこびのことば」、校歌「いのち あかるく」を斉唱し心温まる卒業式を終えました。

卒業式後、PTA主催の「卒業を祝う会」が催され、卒業生は、職員の卒業生一人一人へのエールに送られ、校門を後にしました。

(副校長 山本 新平)



横手支援学校 卒業式



3月9日(金)、朝からなごり雨が降る中、横手支援学校小学部、中学部、高等部合わせて29名の児童生徒が卒業しました。

卒業証書授与では、佐々木明美校長が「おめでとう」と一人一人に声を掛けながら証書を渡し、卒業生は、その思いを感じながらしっかりと受け取ることができました。また、校長式辞では、小学部、中学部、高等部の卒業生の活躍を大いに称賛し、「まっすぐな気持ちで、一つずつ自信をつけながら、風の翼を広げて堂々と歩んでください。」と、卒業生を励ますメッセージを送りました。

式後半の呼びかけと歌では、卒業生と在校生の思いが表現されて見事なハーモニーを生み出し、感動、感涙を呼びました。さらに、最後には、現生徒会長と旧生徒会長が送辞、答辞をそれぞれ読み上げ、卒業生、在校生が新たな決意を表すことができた卒業式となりました。

(教頭 阿部 洋一)



おめでとうございます

「第24回全国特別支援学校文化祭」入賞

○造形・美術部門 リそなグループ賞（最高賞）

「The favorite things」 内山 健太（聴覚支援学校中学部3年）

○造形・美術部門 全国盲学校長会長賞

「戦国家紋合戦」 伊藤 光一（視覚支援学校高等部3年）

○写真部門 優秀賞

「3年2組全員集合！」 武田 紘明（天王みどり学園中学部3年）

いずれの作品も、「第15回わくわく美術展」で、最優秀賞を受賞した作品です。

先日、内山健太さんと伊藤光一さんが、受賞の報告に来課されました。

作品については、「教育あきた3月号」で紹介される予定です。



内山さん（右）と伊藤さん（左）

「SPECIAL プロジェクト 2020」ロゴマーク 優秀賞

スポーツ庁では、2020年に全国の特別支援学校でスポーツ・文化・教育活動の祭典を開催するための「Special プロジェクト2020」を推進しています。

このプロジェクトを広く周知するための「ロゴマーク」の応募作品（全国33校から254作品）の中から、栗田支援学校高等部美術部の作品が優秀賞を受賞しました。



栗田支援学校高等部美術部の作品

ありがとうございました

「教育委員会記念品」の納品



秋田杉を使った写真立て
表面（上）と裏面（下）



全国・国際大会及び全国表彰等に関する報告等のために教育庁に来庁する個人及び団体に対して、教育委員会では教育長から記念品を贈呈しています。その記念品について、聴覚支援学校高等部産業技術科に製作依頼があり、先日納品しました。

産業技術科生4名は、「第9回秋田工芸展」にて秋田県知事賞を受賞し、技術・技法の高さが認められています（サポート No. 148にて紹介）。写真立ては、秋田杉を使用したぬくもりのある製品となっており、教育長からも大変高い評価をいただきました。



塚本校長と産業技術科生の4名



教育長と一緒に